

令和 5 年度

# 地域力応援基金助成事業 活動報告書



地域力推進課

区民協働・生涯学習担当



## はじめに

地域力応援基金へのご寄付をいただいた皆様に、心から感謝を申し上げます。

区民や事業者の皆様からいただいた寄付金を原資とした「地域力応援基金」を活用し、区民活動団体により、様々な地域の課題解決のための活動が実施されています。

令和5年度の地域力応援基金助成事業について、助成団体からの活動報告をとりまとめました。

ぜひご覧いただき、連携・協働のヒントとしてもご利用いただくと幸いです。

★本書は、令和5年度地域力応援基金助成事業に採択された団体から提出された活動報告書を一冊にまとめたものです。

### ■ 地域力応援基金助成事業の概要

地域力応援基金助成事業は、平成21年度の制度創設以来、区民活動を支援するとともに、協働を推進する施策として実施してきました。これまでの事業の実績や地域活動の現状を踏まえ、令和元（平成31）年度から以下の現行制度となりました。

-各助成事業の概要-

	スタートアップ助成	ステップアップ助成	チャレンジ助成・チャレンジプラス助成
主旨	団体の基盤となる事業の応援	基盤となる事業を拡大・拡充させる事業やスタートアップ助成事業の規模拡大の応援	新たな地域課題や新規事業にチャレンジし、地域の連携・協働の深まりが期待できる事業を応援 このうち、区が示すテーマに即した事業であれば、申請額の上限を50万円増額とする（チャレンジプラス助成）。
要件	設立から6年未満	設立から2年以上	設立から5年以上、かつ過去に地域力応援基金助成事業で採択された団体は、実施終了から2年以上経過していること
総額	総額 200万円 (継続 150万円)	総額 280万円 (継続 210万円)	総額 1,000万円 (継続 750万円)
助成額	1事業につき20万円まで (継続は15万円まで)	1事業につき40万円まで (継続は30万円まで)	1事業につき200万円まで (継続は150万円まで) ただし、チャレンジプラス助成として申請した場合は、250万円まで（継続は187万円まで）



スタートアップ助成

■新規

団体名	事業名	頁
オペラフェスティヴァ東京大田	老人ホーム等慰問演奏会による地域貢献	5
おおた・子どもの生きる力を育てる応援プロジェクト	子どもの「生きる力を育てる」応援プロジェクト	6
NPO 法人ド素人スポーツ	ド素人フットサル	7

■継続

団体名	事業名	頁
池上こどものまちコアメンバー会議	池上こどものまちプロジェクト	8
みらいエール	「リアル of 弁護士」ほか様々な職業を肌で感じられるキャリア教育授業	9
どこでもオリヒメ	ICT 活用による社会参加推進事業	10

ステップアップ助成

■新規

団体名	事業名	頁
Link×Link	世代を超えて皆が集まる場所を作る事業	11
いきちか学童クラブ運営会	【くらし×微生物】いきちかコンポストプロジェクト	12
ハートリレープロジェクトおおた	子どもの発達・育成に関する啓発および支援事業	13

■継続

団体名	事業名	頁
NPO 法人ソシオキアアンドケアサポート	ホッとサロン開催とハンドマッサージ講習	14
一般社団法人 EXPRESSION	EXPRESSION コミュニケーション広場！～世代を超えて！伝えたいことを全身で伝えよう！	15
防災助っ人集団 やっこさんの会	「大田区で防災について考えるつどい」	16

## チャレンジ助成

### ■新規

団体名	事業名	頁
NPO 法人打楽器コンサートグループ・あしあと	打って！笑って！カラフルコンサート	17
NPO 法人一期 JAM	地域社会の新しい場所「いちごハウスに集まろう！」	18
一般社団法人ともしび at だんだん	支援者同士のネットワークづくりとシングルファミリー応援フェスタの開催	19

### ■継続

団体名	事業名	頁
ふれあいこどもクラブ	大森西地区の多様性ある居場所-「きょうもおいで」プロジェクト	20
NPO 法人スマイルかまた	パラスポーツをみんなで楽しもう。	21

## チャレンジプラス助成

### ■継続

#### テーマ(1)『ICTリテラシー向上のための地域支援事業』

団体名	事業名	頁
NPO 法人大森コラボレーション	地域と区民活動をつなぐ ICT スキルアッププロジェクト	22

#### テーマ(2)『子ども・若者のための居場所支援事業』

団体名	事業名	頁
NPO 法人 YUME プラス	ジェネラルサポート・おおた	23

地域力応援基金へのご寄付のお願い ..... 24

事業名 老人ホーム等慰問演奏会による地域貢献

助成額 19万円

## ◆地域での課題

外出できない施設入居の方々に慰問で歌曲をお届けしたり、リクエストに応じて懐かしい歌と一緒に歌唱すること

## ◆基金事業概要と達成した成果

【事業の対象者】大田区の高齢者等、演奏会に出向けない方々

【事業目的】老人ホーム慰問等を通じ高齢者等、気軽に外出できない方々の生活に豊かで健康的、文化的な生活支援を行います。

【事業内容】老人ホーム等を慰問し、合唱曲・歌曲演奏会を行います。

【成果】老人ホームの「チャームスイート洗足池」にて演奏会を実施しました。入居者の皆様は気軽に外出して音楽演奏会を聴きに行くのが難しい方々であるところ、ホームにて演奏会を実施することで音楽に親しむ機会を設け、一緒に歌うなどして楽しんで頂きました。施設からも感謝されました。



大勢の入居者の方々が歌を聴きにホールへ集まってきました。



当日の掲示ポスターとプログラム。歌詞を見ながら、一緒に歌う入居者の方たちは笑顔でした。

## ◆これからの取り組み

【今後の課題】

- ① 団員の新規メンバー募集、団員数増加により活動回数を増やします。
- ② 日頃の練習成果を発表する場になることから、普段の練習ともリンクさせます。
- ③ 活動先施設を増やし、地域の方や、例えば病院などに入院中の方を対象に検討していきます。

【今後の改善点】

- ・当団を休団中となっている方々には当団への復帰を期待しており、また、新規メンバーは随時ホームページやフェイスブックを通じて募集中です。団員数回復後に回数を増やす検討をします。
- ・オペラやイタリア歌曲ばかりではなく日本の唱歌などを取り入れる検討をしていきます。

団体名 オペラフェスティヴァーヴァ東京大田

会員数 16名 設立 2022年4月

団体の活動目的  
活動実績

【活動目的】歌唱技術向上を図り、団内の親睦を図るとともに、広範な社会的、文化的活動に寄与することを目的とする。

【活動実績】毎月1~2回の練習、2023年7月に演奏会「メリーウィドウ」実施

# おおた・子どもの生きる力を育てる応援プロジェクト

事業名 子どもの「生きる力を育てる」応援プロジェクト

助成額 20万円

## ◆地域での課題

- ① 子どもたちが地域の中で遊ぶことが失われている。(遊びは子育ての基本)
- ② 地域でも学校でも「保護者同士の交流の場」が失われている。
- ③ スマホ、タブレットの広がり、親の子どもを育てる力が失われている。

## ◆基金事業概要と達成した成果

- ① 「遊びと工作の会」を開催。  
毎月第4日曜日にプラムハイツ大森西集会室を会場にして開催。当初、区内で活動している団体に運営を委託。その後、独自に遊び団体を創設。毎回25名前後の小学生などが参加。
- ② 夏休み子どもキャンプを実施。  
保育園児、小学生37名が長野県駒ヶ根で3泊4日のキャンプを実施。
- ③ 東京湾羽田沖で「ハゼ釣り交流会」を実施。親子20組が参加。



12月24日に開催した「クリスマス会」の写真です。朝9時30分に集まり

- ① 工作の会(9:30~10:30)
- ② クリスマス会(10:30~11:30)

## ◆これからの取り組み

- ① 毎月1回の遊びと工作の会の継続。
- ② 参加してくる子どもの保護者を活動に巻き込む。
- ③ 外遊びの開催。
- ④ 保護者会の組織化。
- ⑤ 子ども意見交換会の実施。
- ⑥ 毎月1回の「こども食堂」の運営および年4回の食料支援の会の継続。年間参加者数1,000名を超える。

下記の写真は8月の長野県駒ヶ根での夏休み子どもキャンプの写真です。(3泊4日)



団体名 おおた・子どもの生きる力を育てる応援プロジェクト

会員数 10名 設立 2022年3月

団体の活動目的  
活動実績

- ① 子どもたちの「生きる力」を育てる。
- ② 子どもと保護者の居場所をつくる。
- ③ 子どもと家族の交流の場づくり、子育て講座などを開催する。

# 日常にスポーツを！

事業名 ド素人フットサル

助成額 20万円

## ◆地域での課題

- ① 働き世代の運動不足の深刻化
- ② 単身世帯の地域住民の繋がり希薄化

## ◆基金事業概要と達成した成果

<概要>

ド素人フットサル…初心者、未経験者でも気軽に楽しむことができるフットサル。(対象:成人)

助成金を活用したことで大森ふるさと浜辺公園フットサル場を利用することができ、8回の開催で60名の方にご利用いただきました。利用者の中には久しぶりに運動をする方、スポーツの定期実施習慣がついた方がいらっしゃり、課題①の解決きっかけに貢献することができました。また、スポーツを通じて国籍、世代、性別を超えた交流が生まれました。

## ◆これからの取り組み

フットサルは手軽に始めることができ、適度な運動となるため今後も継続していきたいと考えておりますが、「施設の確保」が大きな課題となることを痛感しました。今回予定していたフットサル場が工事のため使えなくなり代わりの施設が見つからず開催ができないという事態に陥ってしまったため、フットサルの利用可能な施設を少なくとももう一つは探し、安定して継続的に利用者にサービス提供できるよう努めてまいります。



団体名 NPO 法人ド素人スポーツ

会員数 60名

設立 2022年

団体の活動目的  
活動実績

当会は地域住民を対象とし、忙しい働き世代にも気軽に参加していただける内容でスポーツプラットフォームを展開しています。

スポーツを楽しみながら大いに『動く・笑う・考える・悔しがる・声を出す』ことで、運動不足解消、健康促進、ストレス発散、住民間・世代間交流など参加者の日常に良い影響と刺激を与えることを目的としております。

2022年度 のべ参加者数 2700名

2023年度 のべ参加者数 3900名(12月時点)



# 子どもが自ら創る未来を支援します！

事業名

「リアルな弁護士」ほか様々な職業を肌で感じられる  
キャリア教育事業

助成額 15万円

## ◆地域での課題

授業での調べ学習などで、書籍や ICT を活かした自発的な調査を通じて、生徒・児童が様々な職業の存在を知り、その内容の理解を深めている一方で、知らべた職業や未知の職業について、その職業に従事する人と直接話す機会、職業をリアルに感じられる機会を十分に設けられていない点が課題だと感じます。

## ◆基金事業概要と達成した成果

キャリア教育の一環として、大田区立小学校15校、大田区立中学校5校において、延べ2102名の児童・生徒を対象に、様々な職業の講師（ゲストティーチャー）にお話しして頂きました。

仕事の内容、その職業に就いた理由、やりがいや大切にしていること、児童又は生徒へのメッセージ等を直接生の声でお伝えし、また質疑応答での双方向のコミュニケーションを行うことで、様々な仕事を肌で感じてもらえたと思います。またゲストティーチャーへの感想文という形で、授業の振り返りと言語化を行い、考えや理解の深化の一助にして頂けたと思います。



## ◆これからの取り組み

さらに多くの学校でキャリア教育授業を実施して、より多くの児童・生徒に対し、いろいろな職業があり、様々な思いをもって仕事に取り組んでいることを、実感してもらえるように活動したいと思います。

そのために、学校側への広報活動により一層力を入れるとともに、他の団体との連携や人的な繋がりを活かして、賛同者を募り、講師（ゲストティーチャー）の拡充に努めます。また、新たな形態での授業の提供を模索・検討したいと思います。



団体名 みらいエール

会員数 9人

設立 2021.4

団体の活動目的  
活動実績

子どもたちの生きる力の醸成し、子どもたちを支える家庭・保護者をも支えることにより、子どもたちが自信をもって挑み続けられる社会を創ることを目的としています。

(活動実績：令和5年度 大田区立小学校15校 大田区立中学校5校 対象児童・生徒合計2102名  
令和4年度 大田区立小学校13校 大田区立中学校2校 対象児童・生徒合計1460名  
令和3年度 大田区立小学校9校 大田区立中学校1校 対象児童・生徒合計938名)

# どこでも誰でも人とつながれる社会をめざして

事業名 ICT 活用による社会参加推進事業

助成額 15万円

## ◆地域での課題

障がいや病気、家族の介護や育児などさまざまな理由で外出が困難な方が参加できる地域イベントや就労機会はまだまだ不足しています。インターネットやICT機器を活用し、多様な人が様々な方法で参加できる地域社会づくりが必要とされています。

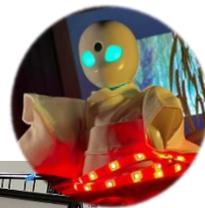
## ◆基金事業概要と達成した成果

- ・昨年度に引き続き、ICT機器（分身ロボット OriHime）を利用して、外出に困難を抱える方たちが遠隔で区の福祉施設で手作りしているお菓子の販売をする就労体験事業を全8回行いました。新たな試みとして、障がいや難病のある作家さんのハンドメイド作品の販売も開始しました。
- ・小学校のサマースクールでの体験会や図書館での朗読演奏会、遠隔ポッチャ実証実験などのイベントを全6回行いました。地域の小学生からシニア世代まで幅広くご参加頂き活動への理解・啓発に繋がりました。

## ◆これからの取り組み

持続的に外出に困難を抱える方々の就労機会の創出を行っていけるように、自主事業で自走できるようなビジネスモデルの構築を目指します。SNSでの発信を強化し、活動を共にして下さる方々を全国から積極的に募集すると同時に、より多くの地域の他団体や企業との連携協力を深めていきたいと思ひます。

夏には、怪談の朗読演奏会を行いました！三味線とヴァイオリンが即興演奏で音をつけるユニークな企画となりました。



団体名 どこでもオリヒメ

会員数 10名

設立 令和2年（2020年）

団体の活動目的  
活動実績

「外出困難でも社会とつながりたい」といった声に寄り添い、多様な人の社会参加を実現することを目標に設立されました。ZOOM や分身ロボット OriHime 等の ICT 機器を活用し、外出に困難を抱えていても地域のイベントに参加し、地域で人と人がつながり合い、学び合い、誰もが自分らしく生きていける社会を目指し朗読演奏会、社会体験事業、講演会などを行っています。

# 世代を超えた輪を広げて

事業名 世代を超えて皆が集まる場所をつくる事業

助成額 37万円

## ◆地域での課題

昨年度までは月 1 回開催だったが、今年度は毎週開催にしてレッスンを開催していった。コロナが明けてきているような世代の方が来てくれた。そして年 4 回のイベントも常時開催と別に開催できた。まだまだ地域の方への認知度が低いので宣伝活動に力をいれていきたい。

## ◆基金事業概要と達成した成果

3 年目の事業も先の見通しをたて進めることができ、常時開催のものは参加者が定着してきた。イベントは大田区の掲示板や地域の商店街の張り紙のおかげでいろんな方に来てもらった。コロナがあけてきて色んな世代の方に通っていただけるようになり、縦のつながりができつつある。年々、チャレンジしているような講座やイベントを開けるようにしている。何よりもこの場所を継続していけてありがたいです。

## ◆これからの取り組み

初めに掲げた目標が

【この場所を開催し続けること】

昨年は Link×Link の名前を売ることでしたが、まだまだここできてないかと思っています。

3 年目の今回は常時開催ができイベントも前の年より多くの方が来てくれ、少しずつ広まってきているかと思っています。来年度も少しずつ前に進んでいきたいと思っています。



夏のイベント



常時開催コース

団体名 Link×Link

会員数 20人

設立 2021年1月26日

団体の活動目的  
活動実績

色々な世代が集まる場を開催。色んな世代が集まり交流を深め、様々な人間関係を築き助け合いながらより良い日常が過ごせるように、いつでもここに来て帰ってこれる『みんなのオアシス』となるように活動を続けたい。

# よいことだらけのコンポストを、くらしの中に

事業名

[くらし×微生物]いきちかコンポストプロジェクト

助成額

40万円

## ◆地域での課題

- ・「コンポスト」や「有機物の再生」という仕組みも、そもそも概念も、まったく普及していない…!

カリフォルニア州やフランスでは、**コンポストは義務化**されています。  
大田区では、基本計画や区の事業にコンポストがまったく含まれていません。

※コンポストは、生ゴミや落ち葉などの有機物を土に再生すること、またはそのための容器のこと。

## ◆基金事業概要と達成した成果

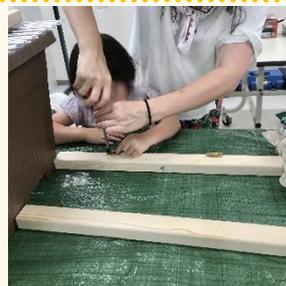
- ・コンポストを普及する！
- YouTube や SNS 等でコンポスト情報の発信
- コンポスト製作講座を開催
- ・コンポスト利用を通じて土を育てる力を育む！
- ・コンポスト利用を通じて微生物や自然の共生について理解し、自然、他者、そして自分もあるがままに認め尊重する力（生きる力）を育む！
- 「コンポストでの土育てのコツ講座」を開催
- 公園花壇で使う土を育てる「土の里親」制度開始

## ◆これからの取り組み

- ・コンポスト製作講座と土育てのコツ講座は継続。
- ・学校や保育園などの施設、地域団体と協働して、コンポストの認知度を高めたい。
- ・コンポスト完成容器の販売やお試しレンタルも対応予定。



- ☞コンポストもいろいろありますが、自信をもっておすすめできるのが、このキエーロ式プランターコンポスト！生ゴミを入れて放置しておくだけで、生ゴミが消えます。
- ☞コンポストは、家事ラク目的の自分のために使いながら、ゴミ回収や焼却の負担軽減（＝地域貢献！地球貢献！）にもなります。さらに自然理解も深まるという最強ツール！ぜひ暮らしの中に取り入れてください。



キエーロ式プランターコンポスト製作講座は、大人はもちろん、親子での参加や、児童だけの参加もあります。不慣れな人も、みんなで楽しく、完成！



コンポストは「土育て」もできます。育った土は家庭菜園で使えます。いきちかクラブが自主運営する公園花壇への土の寄付も大歓迎です。

団体名

いきちか学童クラブ運営会（「いきちかクラブ」の運営団体）

いきちかクラブ

会員数

2名（運営）

設立

2019年4月

団体の活動目的  
活動実績

私たちは、「生きやすい社会」の形成を目指します。

—子どもも、大人も、みんなが今より少しでもラクに楽しく生きられる社会を目指して—

- ・取りこぼしによる生きづらさを少しでも軽減したく「今ここに必要なのにまだない仕組み」を作っています。
- ・メンバーの境界なくあらゆる「みんな」が、24時間365日いつでも公園花壇に関われる仕組みを目指す「いきちか花壇プロジェクト」など。
- ・各種SNSやLINE公式、だれでも匿名で入れるLINEオープンチャットも運営中。コミュニケーションしてください。

# 子どもの自立をきちんと支援する“大人づくり”!

事業名 子どもの発達・育成に関する啓発および支援事業

助成額 40万円

## ◆地域での課題

核家族化に加え、地域との関係が希薄化する中、子育ての孤独化が、コロナ禍でさらに深刻化している。子どもがその発達段階ごとに必要とする、親や身近な人との関わりを通し、自己肯定感や人への信頼感を高めていけるような環境づくりが急務である。

## ○子育てセミナー、支援者研修



## ◆基金事業概要と達成した成果

○発達や子育ての専門家による子育てセミナーを実施し、子どもの発達と周囲の大人の関わり方の大切さを知ってもらおう。

○子育て支援者の現場（学校、幼稚園、保育園）での個別事例に対する支援を実施。

○子育て支援者に対する関わり方についてのスキルアップ研修を実施

○子どもの発達と、周囲との関わり方の重要性に関する啓蒙啓発活動



## ○個別相談

## ◆これからの取り組み

○発達や子育ての専門家による子育てセミナー実施の継続

○子育て支援者の現場（学校、幼稚園、保育園）での個別事例に対する継続支援。

○子育て支援者に対する関わり方についてのスキルアップ研修。

○これらを各団体、組織（保育園、幼稚園、民生委員児童委員等）との連携を進めながら拡げ、継続していく。



団体名 ハートリレープロジェクトおおた

会員数 5名

設立 平成20年

## 団体の活動目的 活動実績

地方出身者で共働き・ワンオペ育児、さらに地域のコミュニティが形成されていない環境にあった代表が、子育ての困難さを実感、同様の状況にある複数の保護者との出会いが団体設立のきっかけとなる。主に有資格者によるメンバーで構成され、これまで地域コミュニティの形成と子育て家庭への支援として、認可外保育施設運営支援、地域イベントでの保育サポート、小学校でのゲストティーチャー、保育園への発達相談支援、サマースクール運営支援等を行ってきた。

# NPO 法人ソシオキュアアンドケアサポート

事業名 ホットサロン開催とハンドケアマッサージ講習

助成額 22万円

## ◆地域での課題

世代・性別に関係なく、ハンドケアマッサージを通して「傾聴」と「肌に触れる安心感」を体験し、ストレスの軽減やコミュニケーションの手段として習得することで身近な方を支援できます。またアロマオイルの活用でセルフケアについても学び心地よく過ごすヒントを学び、活力ある日々を送っていただきます。

## ◆基金事業概要と達成した成果

毎月定期的に講習と体験できる場を開催しました。講習ではセルフケアと誰かにやって差し上げることができるように行いました。アロマオイルも期待される効果によって精油を選べるように実習しました。4月から3月の12回の講習で113名が参加されました。参加者同士でお知り合いになり、コミュニティもできて楽しく過ごされています。実際にご家族や知人にハンドケアマッサージを提供して喜ばれたというコメントもいただきました。

私たちが行っているソシオエステティック（傾聴を伴う美容ケア）心のケア活動について区民の方に広く知っていただき区内の福祉施設での提供に繋がりました。

## ◆これからの取り組み

共生社会においてだれもが自分らしく過ごせるようにセルフケア、コミュニケーションとして「美容ケア」が活用されるようにその手法を伝えることと、体験できるタッチポイントを増やしていきます。

災害時など、避難所のできるハンドケアマッサージは傾聴を伴うことから、辛い気持ちを和らげることが期待できます。多くの方に活用していただき笑顔の輪が広がるように、これからも講習を続けてまいります。



団体名 NPO 法人ソシオキュアアンドケアサポート

会員数 40名

設立 2008

## 団体の活動目的活動実績

加齢、疾患、障がい、災害、暴力など困難な状況にある方へソシオエステティック（傾聴を伴う美容ケア）を病院、施設で提供している団体です。コロナ禍では施設訪問が縮小したため、ケアが受けられる居場所づくりのための「ホットサロン」を各地で開催しています。大学、専門学校、都立高校で「QOL 維持向上のための美容ケア」授業担当のほか、地域の方へハンドマッサージの講座実施など「人生100年時代」を自分らしく生きる「美と癒し」をテーマに活動しています。

# 2023 ワークショップ ～表現力を高めよう！

事業名

EXPRESSION コミュニケーション広場！  
～世代を超えて！伝えたいことを全身で伝えよう！

助成額 30万円

## ◆地域での課題

『コロナ禍 我慢してきた交流を再開する』  
●三世代で取り組む朗読・歌唱・ダンス！  
●練習会場・本番会場共に大田区内の施設とし、集まり易さを重要視した  
●事業の告知を大田区地域力推進課より各小中学校や図書館や児童館などへ配布協力いただいた。

## ◆基金事業概要と達成した成果

●子ども・大人レッスン  
日時： 1/22(日)・2/5(日)・2/19(日)・3/5(日)  
3/19(日)・4/9(日)・4/23(日)・5/14(日)  
5/28(日)・6/11(日)・6/25(日)・7/9(日)  
7/23(日)・8/6(日)/13:00～16:00  
会場：大田区立田園調布中学校（特活室・視聴覚室）  
●本番 「EXPRESSION ワークショップ 2023 表現力を高めよう！世代を超えて！伝えたいことを全身で伝えよう！」  
日時：8/20(日)14:00～16:00  
会場：カムカム新蒲田多目的室（大）

## ◆これからの取り組み

●コロナ禍、子どもも大人も活動への参加が積極的に出来なくなった状況下、メンバー募集を地域の様々な活動団体に呼びかけ、その中で互いの活動について理解と協力を深めていきたい。  
●病院や高齢者施設等々への積極的な慰問が難しい状況が続く場合も、可能な限り社会とつながり、小さなことでも誰かのお役に立てる活動を心がけたい。

## ◆2023年8月20日（日）

EXPRESSION ワークショップ 2023 表現力を高めよう！  
～世代を超えて！伝えたいことを全身で伝えよう！～

第1部：EXPRESSION メンバーによる発表♪  
第2部：三世代で取り組むダンス・朗読・合唱♪



【ダンス】蒲田から誕生したシクラメンの楽曲『ハートビート』

【朗読】谷川俊太郎の世界～わらべ歌／ことば遊び 他

【合唱】日本の古き良き時代を歌う『ふるさとの四季』

## ◆アンケート（一部）

- ・とても有意義な時間を過ごせた。
- ・先生方の熱意あるご指導で、会場も盛り上がりとてもよかった。
- ・会場が一体となってとても素晴らしかった。



団体名

一般社団法人 EXPRESSION

会員数

6名

設立

2015年

団体の活動目的  
活動実績

学校や学年の違う子ども達と子ども達の一番のサポーターである大人達 三世代が大家族のように集まり、地域の施設を練習・本番会場に使用し、プロフェッショナルの指導のもと様々なチャレンジをする。病院や高齢者施設への慰問や『社会に貢献出来る』様々な表現や発信を継続する。

# 防災助っ人集団 やっこさんの会

事業名 「大田区で防災について考えるつどい」

助成額 25万円

## ◆地域での課題

自然災害はあまねく等しくみんなに降りかかります。

自然災害（地震、水害）について、その被害状況は、同じ区内でも場所によって違いがあります。大地震による倒壊家屋が多い地域、多摩川が氾濫することによって、水没する危険がある地域など、地域によってさまざまな災害があり、それに対応していかなければなりません。

## ◆基金事業概要と達成した成果

### ① 防災かるた体験会

防災かるたを作ってそれを子どもたちと一緒に遊ぶ。遊びながら防災の知識を習得していくという優れモノ。子どもたちは楽しくおかしく遊びながら“防災”を学ぶ。

### ② HUG(避難所運営ゲーム)ー多摩川氾濫編ー

大雨が続き、多摩川が氾濫する危険性が高まった。避難所が開かれ、地域住民が避難所にやってきた。…そのときからゲームが始まる。さまざまな困難に直面しながらも避難所スタッフは頑張って避難所を運営していく。時系列で避難所の運営を机上で体験するもの。

### ③ 「阪神淡路大震災から学ぶ

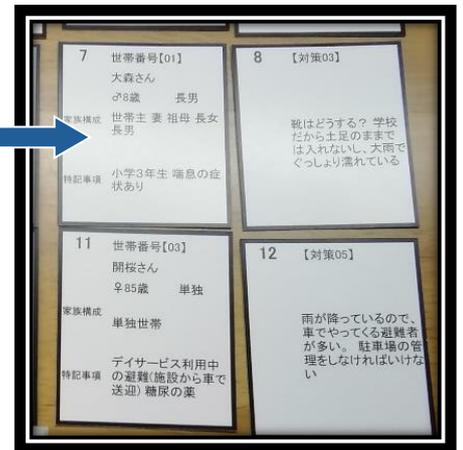
都市直下地震に備える」

R5.10/14(土)に実施。29年前の阪神淡路大震災時に避難所の運営に携わった、三原秀夫さんをお招きして、当時のお話と大地震に備えるための心構えを伺いました。阪神淡路大震災のような都市型災害はわたしたち大田区民にとって大いに教訓となりました。

★かるたのことば  
にいくらろう  
★かるたの絵  
のむらけんぞう



防災かるた



HUG:  
避難所運営ゲーム  
(多摩川氾濫編)



三原秀夫さん

阪神淡路大震災から学ぶ  
都市直下地震に備える

## ◆これからの取り組み

過去の災害を学び、過去の災害を風化させないことが最大の防災対策である、という強い信念のもと、わたしたちは、大田区内でこれからも防災について区民と考え、対策を講じていきたい。

団体名 防災助っ人集団 やっこさんの会

会員数 12名

設立 平成30年(2018年)9月1日

団体の活動目的  
活動実績

災害を経験していない“未災者”ということを理解して、経験者に学び、想像することを大切にしたい防災活動をする。  
設立より今日まで年間5回のペースで防災のイベントを行っている。

# 出かけにくい方もみんなでコンサート！

チャレンジ助成

事業名 打って！笑って！カラフルコンサート

助成額 200万円

## ◆地域での課題

**【コンサートへ  
出かけにくい方々へ！】**

様々な困難な状況下に置かれている（各種障がいを持つ）子供たちへなじみのある曲から本格超絶技巧の打楽器の曲の参加体験型コンサートを届けます。  
また高齢者にも手話を用いて認知症予防を行うコンサートを実施！

## ◆基金事業概要と

達成した成果

**【区内35公演1000名の  
障がい者や高齢者へ音楽を！】**

障がい者の方へはオリジナル楽器を作り、その楽器と共に見る、聴く、触る、そして作るという項目を加え、五感に響く参加型コンサートを開催しました。  
高齢者へは思い出に残る着物ファイルを用意、家に帰っても作れるキットと共に手話のやり方の冊子をプレゼント。

## ◆これからの取り組み

**【さらに多くの世代に音楽を！】**

どんな環境下でも同じようにコンサートや音楽を楽しめることを目標としています。  
世代や障がいによっても、最適なイベントの在り方を追求し、多くの後援、協力を得て、充実したコンサート内容を確立。また”団体力”の底上げのため、人材育成はもちろんの事、団体の特色を広く大田区へ周知する活動も広がっていきます。

## 迫力！打楽器コンサート→

見たこともない大きい打楽器のコンサートとオリジナル打楽器の合奏。また手話などを用いた参加型コンサート！



**←音が苦手な方も楽器作りは大得意！  
世界で一つのオリジナル打楽器、かわいく  
できたね！**

## 着物ファイルと 共に！

手話の冊子、飾りつけキットと共に家でも思い出して認知症予防に！



## 本格打楽器体験！

プロが演奏した楽器をみんなもさわってみよう！



団体名 NPO法人打楽器コンサートグループ・あしあと

会員数 11人

設立 2013年4月

## 団体の 活動目的 活動実績

「子供たちにもっと生の音楽を」をモットーに東京芸大卒の池野ひとみを中心に結成。  
コンサートに出かけにくい方たち向けに（乳幼児、その保護者、障害者施設、高齢者施設、乳児院など）本格打楽器を出張し、参加型コンサートを開催する。ただ聴くだけでなく、見て、触って、一緒に合奏したりと、気軽に本格コンサートを体験してもらうためワンコインコンサート中心に活動。これまでに延べ600か所、6万人に音楽を届けてきた。

# こどもも大人もいちごハウスにあつまろう！

事業名

地域社会の新しい場所「いちごハウスに集まろう！」

助成額

177万円

## ◆地域での課題

- ・下町とタワーマンションとのコミュニケーション不足と地域格差
- ・若い世代(世帯)と高齢者世帯とのコミュニケーション不足と世代格差
- ・高齢者の孤独
- ・情報弱者の貧困
- ・こどもの学習格差→塾に行ける子、いけない子の格差
- ・在日外国人二世のアイデンティティ問題
- ・高齢者、障がい者が趣味を持つ場の不足

## ◆基金事業概要と達成した成果

【寺子屋事業】

大田区下丸子周辺の小学生を対象に学習のサポート、居場所を提供。

【ワークショップ事業】

大田区下丸子周辺の地域住民が気軽に集まり、様々なコト(文化、趣味など)を共有する場所として提供。

【成果】

近隣に住む小学生を中心に寺子屋を通じて、交流を深める場を提供。

ワークショップにも参加することで、興味を持つ幅を広げることが出来た。保護者のお悩み相談の場としても活用でき、こどもだけでなく大人の交流の場としても活用。また、地域店舗の協力を得て、ワークショップでコラボすることで、地域の良さを伝えると同時に本事業の宣伝・理解を深めることに繋がっている。

## ◆これからの取り組み

NPO 法人一期 JAM の「いちごハウスにあつまろう！」プロジェクトは、地域のこども達を対象とした学習のサポートと交流の場を提供しています。今後の取り組みでは地元児童館や小学校との連携を深め、より多くの方に認知・利用いただけるよう周知できる仕組みを検討していきます。

また、スタッフの拡充と専門知識の向上、行政への対応強化を図るよう努め、困っている人に手を差し伸べるだけでなくサポートを受けられるような窓口としての機能を持てるように体制を少しずつ整備を検討しています。さらに寺子屋やワークショップ事業の活動を継続し、地域住民誰でも参加可能なプログラムを提供し、地域コミュニティとの連携を深めていく予定です。



団体名

NPO 法人一期 JAM

会員数

20名

設立

2013年12月

団体の活動目的  
活動実績

当団体は、「音楽からはじまる∞多様性を認め合い、つながりあえる社会」を vision に掲げて活動。アフリカのジャンベワークショップを起点に、こども食堂、フードドライブ、商店街活性化などで多様性を重視した活動を展開。コロナ禍前は会食形式のこども食堂で、こどもだけでなく全世代の交流の場を提供し、音楽を通じて異文化への理解を促進。コロナ禍ではお弁当形式で国際料理を提供し、フードパントリー活動も導入。2023年7月からは寺子屋事業で地域のこどもたちに交流の場を提供。また、近隣飲食店と協力して会食形式のこども食堂を再開する。

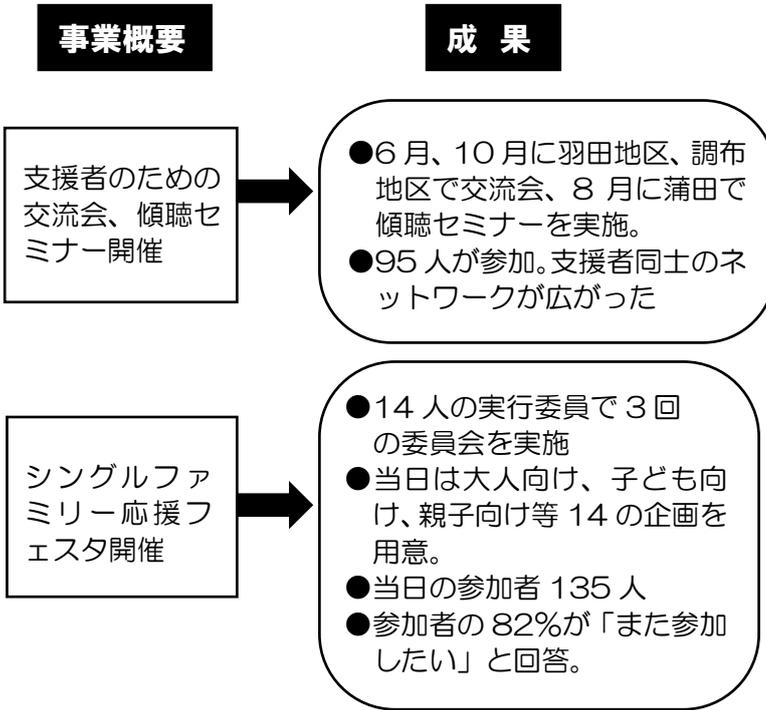
# 支援者のネットワークで地域の困りごとを解決に導く活動

事業名	支援者同士のネットワークづくりとシングルファミリー応援フェスタの開催	助成額	155万円
-----	------------------------------------	-----	-------

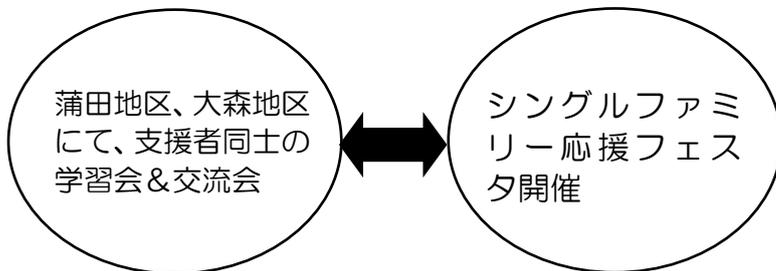
## ◆地域での課題

大田区はこども食堂発祥の地であり、現在は「こども食堂連絡会」が構築され地域での支援の輪が広がってきている。こども食堂は相談機関ではないが、気軽に立ち寄れて信頼できるスタッフがいることから悩みを吐露する利用者が多い。さらにコロナを経て困りごとを抱える方が多くなり、悩みも複雑化している

## ◆基金事業概要と達成した成果



## ◆これからの取り組み



団体名	一般社団法人ともしび a t だんだん		
会員数	3人	設立	平成29年5月
団体の活動目的 活動実績	子どもからお年寄りまで、あらゆる人に勇気とやる気を芽生えさせ共に生きていく共生型地域社会づくりをめざし、こども食堂、産前産後保健室、こども天国、こども相談室、寺子屋、読み聞かせ、ジェンダーcafé、お金の勉強会等、企画から参加できる多世代ごちゃ混ぜ型の地域に役立つイベントや教室を定期的に企画開催。小学校、商店会とのコラボ企画も進行中。		

事業名

大森西地区の多様性ある居場所-  
「きょうもおいで」プロジェクト

助成額

150万円

## ◆地域での課題

- ・地域の活動に参加できない、きっかけをつかめない人たちがいる。
- ・子どもや高齢者、障がいのある人の第3の居場所として機能する場所がない。
- ・ボランティアで、何か自分の力を地域や社会に役立たせたいと考えているがどうしてよいかかわらずに一步踏み出せない。



## ◆基金事業概要と達成した成果

- ◎ 地域の子ども、大人、その中の高齢者、障がいのある者等、全世帯さまざまな人がかかわる居場所としての機能を持った広場を提供する。
- ・居場所、食堂としての開催日数 40回（4月から、3月まで） 作品づくり、講話等のイベント 10回（3月末まで）を含む。
- ・参加した方、老若男女 延べ785人（3月18日まで）
- ・参加者の中で、開催日を待っている方々やイベントを楽しみにして来られる方もいる。



クッキングを楽しもう（やきそば、ホットケーキ、ゼリー）



完成！

パラコードで作るメガネストラップ



七夕飾り作り

## ◆これからの取り組み

- ・安心していただける場所としての認知をさらに広げる。
- ・イベントを機会に、広場を知ってもらい、親子、その他の人たちが気軽に話し合える場所を提供する。
- ・こども、障がいのある者、高齢者が地域の人たちと交流する場として利用し、安心して生活できる喜びや誇りと自覚をもち、人とのつながりの楽しさ、喜びを育める土壌作りをしていく。
- ・ボランティアの募集を工夫し、働きやすい場と信頼し助け合える関係を築く。



夏の恒例行事



スイカ割とそうめん流し



講話（地域の神社の氏子副総代の  
の方からお話を伺いました。）



高齢者と小学生の交流の場

団体名

ふれあいこどもクラブ

会員数

40名

設立

平成16年3月

団体の  
活動目的  
活動実績

子どもたちが地域の大人（高齢者、障がい者、町の人々）等と交流する機会を創出し、こどもの成長の支えとなる場を立ち上げた。保護者へのフォローを欠かさず、町会、民生委員、PTA との共同連携をしながら、20年に及ぶ活動を続けてきている。

# スポーツを通してみんな笑顔になろう

事業名 パラスポーツをみんなで楽しもう。

助成額 138万円

## ◆地域での課題

- ・高齢者の孤立
- ・子育て世代の孤立
- ・障がい者のスポーツする場所、機会が少ない
- ・地域コミュニティの低下

## ◆基金事業概要と達成した成果

- ・スポーツ de スマイル…5回
- ・ダンス de スマイル…12回
- ・モルック体験会・ボッチャ体験会…各2回
- ・キンボールスポーツ体験会…2回
- ・縄跳び体験会…1回
- ・ペギーボール研修会…1回
- ・身体測定・体力測定・健康相談…1回

## ◆これからの取り組み

- ・ユニバーサルスポーツの定期開催
- ・ユニバーサルスポーツの指導者増員
- ・障がい者への理解
- ・ユニバーサルスポーツを通しての世代間交



団体名 NPO 法人スマイルかまた

会員数 100名 設立 平成27年(2015)

## 団体の活動目的 活動実績

子どもから高齢者・子育て世代・障がい者も参加でき、多世代間がコミュニケーションを図ることができる場を設ける。健康づくりや生きがいづくり、仲間づくりの場を設ける。地域住民が互いに知り合い、協力し合うことにより地域力の向上を図る。

親子ヨガ・親子 de ダンス・筋力アップ体操・ボッチャ・ダンス de スマイル・カキラ・キンボールスポーツ・卓球・バドミントン・殺陣エクササイズ・キッズ剣士クラス・ハイキング・ウクレレ・お茶会など多世代が楽しめる教室を開催しています。

事業名 地域と区民活動をつなぐ ICT スキルアッププロジェクト

助成額 161万円

## ◆地域での課題

コロナ禍で人との交流や対面活動が制限される状況や、風水害被害や、地震火山など災害の多発化が心配され、政府政策もデジタル化を急速に押し進めている。この波を乗り越えIT 機器の活用を誰もが出来る社会づくりを進める必要がある。



スマホ・パソコン講習会

## ◆基金事業概要と達成した成果

- ① 「Collabo(こらぼ) IT カフェ」パソコンの使い方をスタッフに質問したりしながら、思い思いの時間を過ごした。
- ② 「スマホ・パソコン講習会・相談会」を実施。エクセルやワードの使い方講習や個別相談を実施。
- ③ 民生委員向け IT 講習会を実施。
- ④ オリヒメを使ったボッチャ体験（社会実験）を実施。ボッチャに障害のある方が遠隔地の自宅からも参加してゲームを行った。
- ⑤ オンライン用防災チェックキット配布。ポレポレエコまつりにて、youtube 動画を見ながら防災の備えを行う防災キットを親子連れに配布。



YouTube を見ながら防災チェック

## ◆これからの取り組み

- ① ICT 相談と伴走型支援の継続  
具体的な悩み事への対応
- ② 「パソコンカフェ」の継続  
パソコンをツールにした居場所づくり
- ③ 未来体験事業の継続  
オリヒメを活用したボッチャの実験をさらに進める。IT を活用した防災チェックの普及



オリヒメロボットを活用して  
遠隔操作でボッチャ体験

団体名 NPO 法人大森コラボレーション

会員数 34人 設立 平成 18 年

団体の活動目的  
活動実績

廃校となった大森第六小学校の跡施設活用を地域住民で提案、区との協働で、区民活動支援施設こらぼ大森を開設。施設運営を事業者として担い、地域力による地域の活性化や安心した暮らしづくりに寄与している。平成 30 年より総合型地域スポーツクラブブシオ大森を立上げ、まちの元気づくりの活動も充実化を図っている。

# みんなのリビング！ジェネサポ・おおた

事業名 ジェネラルサポート・おおた

助成額 130万円

## ◆地域での課題

地域の子どもたちの利用が増えるにつれて、いろいろな課題はたくさんありました。「子どもが使う“施設”という言葉」次の日、「●●くん施設行ってるらしい」と言われたと…私たちの活動がまだまだ知られていないのが原因でした。地域の方々（大人の皆さま）にもう少し当居場所を知ってもらうことが大事な課題であると考えました。

## ◆基金事業概要と達成した成果

◎子どもたちの楽しいを実現できました。

→遊具やタブレットなど子どもたちの「やりたい！」を実現できたと思います。

◎学生ボランティアの継続的な受け入れ・活動支援

→既存の在籍学生ボランティアの教育・受け入れ・活動支援を行うことができました。

弊法人の目指すミッションの一つは、「弊法人が社会の隙間から落ちてしまう子どもや保護者のセーフティーネットになること。」です。そのためには、まだ弊法人が気づけていない子ども達に関する問題点の抽出ができる環境を整えることが第一だと考えております。

## ◆これからの取り組み

2024年度はさらに活動の幅を広げ、現在は学生ボランティア中心で運営していますが、地域にお住まいのシニア世代の皆様や 地域商店会の皆様にもお力を貸していただきながら、事業を活発化していけたらと考えています。また、地域の小学校・中学校とも連携を図り、より地域における子ども見守りネットワークの構築活動を推進していきます。さらに、地域包括支援センターとも協働し、地域共生社会への推進に貢献してまいります。

猛暑が続いた夏は  
オリジナルかき氷



正月遊びをやりました♪

団体名 NPO 法人 YUME プラス (ゆめぶらす)

会員数 42名 (38名) 設立 2019年(法人化) 1985年(創設)

団体の活動目的  
活動実績

「子ども達が孤立することなく、地域への参加と協力によって、親世代、地域の人々との交流を深め、将来の夢を見出し、その実現を支援する。そして子ども達の健全な育成を図り、全世代間交流と福祉の実現に寄与することを目的とする。」 空手道教室の運営・福祉相談窓口の運営・SNS 相談の運営など行っている。



# 地域力応援基金への ご寄付のお願い



## 様々な地域の課題解決のために活かされています！



地域力応援基金は、区民や事業者の皆様からの寄付金を積立て、区内で活動するボランティア団体やNPO、地縁団体等が実施する公益的な事業を支える基金です。

### 1 寄付金の活用

地域力応援基金へのご寄付は、「地域力応援基金助成事業」として大田区の財産となるべき地域力の発掘・活性化をすすめるために活用させていただいております。

### 2 寄付の方法 (寄付する場合には以下の3つの方法があります)

#### (1) 納付書でお近くの金融機関で振り込む

➡ 寄付申込書を地域力推進課まで送付してください。後日納付書をお送りしますので金融機関窓口でお振込みください。なお、手数料はかかりません。

#### (2) 現金書留で郵送する

➡ 寄付申込書を同封の上、地域力推進課まで送付してください。郵送料等は恐縮ですが、お客様でご負担ください。

#### (3) 直接現金をお持ちいただく

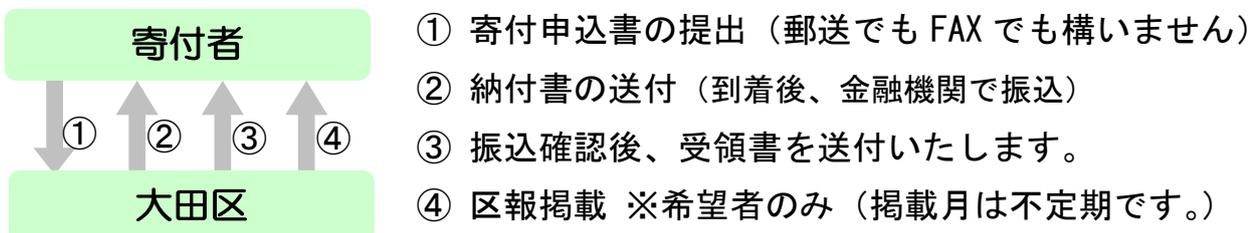
➡ 大田区役所6階地域力推進課にお越しください。寄付申込書はその場でご記入いただきます。

### 3 寄付申込書の入手方法

寄付をする場合には寄付申込書が必要です。寄付申込書は、大田区 HP からプリントアウトするか、下記問合せ先までご連絡ください。後日郵送でお送りします。



### 4 寄付の流れ (※上記2 寄付の方法(1)の例)



**令和5年度 地域力応援基金助成事業活動報告書**

**発行年月:令和6年7月**

**発行:大田区地域力推進部地域力推進課**

**区民協働・生涯学習担当**

**〒144-8621 大田区蒲田五丁目 13 番 14 号**

**TEL:03-5744-1204 FAX:03-5744-1518**

